

用語解説 **耐震診断**: 建築士などの専門家が、建物の地震に対する安全性を評価すること。
耐震改修: 地震の揺れに耐えられるように建物の向上を図るために行う工事。

中村 博美 議員

保健福祉部長
市立第一、第二、第四、第五保育所の今後について尋ねる。
第一、第四、第五保育所では、今年1月に耐震診断の結果を踏まえた今後の保育所での緊急的な対応について、第二保育所では、今後の方向性について保護者説明会を実施し、以下の3つの案を検討した。
①利用定員を見直し、公立保育所をすべて公立のまま施設整備をし、建て替えを行うこと。
②6つの保育所を適正に配置し、施設数及び利用定員を見直し、施設数を減少させた上で公立のまま建て替えを行うこと。
③施設の適正配置を行い、公立保育所と民設民営化を視野に入れた保育所の整備を行うこと。

議員
児童数の減少が、閉所になる大きな要因にならないか。
保健福祉部長
地域の位置づけ等も考慮する

議員
前回の質問に市長は、保護者ではなく、通っている園児の安全が大事と言われた。しかし、送迎をしている保護者の方がしつかりと納得できるような説明をして進めてほしい。

議員
統廃合ありきでなく、当然考えていく時期にきている。課題を先送りしないで、取り組んでいくことを提案する。

議員
第二保育所所在籍児童の保護者地域住民の方より提出された陳情書をよく読み、6つの保育所とともに考慮してほしい。

議員
市立幼稚園5園の今後について尋ねる。
教育委員会教育部長
東部地区は玉幼稚園、西部地区は飯沼幼稚園を耐震改修して統合する方向で進めている。

議員
山間僻地あるいは統廃合した学校では、スクールバスを導入しているが、当市では検討した経緯はあるか。
教育委員会教育部長
現時点で検討した経緯はない。

議員
三妻小学校では、公共交通を利用して子どもが多い。保護者の負担も大きい。登下校問題を早急に解決してほしい。
市長
これからの人口減少、少子化を鑑み統廃合を考えたときにスクールバス制度を検討していきたい。

議員
遠距離通学者の学校別の人数を問う。
教育委員会教育部長
三妻小学校が63名、大花羽小学校が1名、水海道西中学校が184名である。

議員
重大な課題の提起としてしっかりと受けとめる。

議員
絹西小学校は、坂手、内守谷小学校の両校が昭和33年に統合した、言わば統合の先駆け。モデル校としてスクールバスを導入してはどうか。
教育委員会教育長
課題を整理していく。

議員
絹西小学校は、坂手、内守谷小学校の両校が昭和33年に統合した、言わば統合の先駆け。モデル校としてスクールバスを導入してはどうか。

議員
三妻小学校では、公共交通を利用して子どもが多い。保護者の負担も大きい。登下校問題を早急に解決してほしい。

議員
三妻小学校では、公共交通を利用して子どもが多い。保護者の負担も大きい。登下校問題を早急に解決してほしい。

議員
三妻小学校では、公共交通を利用して子どもが多い。保護者の負担も大きい。登下校問題を早急に解決してほしい。

議員
三妻小学校では、公共交通を利用して子どもが多い。保護者の負担も大きい。登下校問題を早急に解決してほしい。



市立保育所、幼稚園の今後について尋ねる

答
保育所は検討中。幼稚園は耐震改修して統合する方向。
ので、児童数の減少だけで閉所という話にはならない。



スクールバスの導入について問う

答
慎重に検討していく
ないのは、教育的配慮がなされていないと感じるが。

岡野 一男 議員